



ほした市議会だより

平成23年1月31日発行

No.22



立派にできたよ!玄關飾い☆ 安房子供会

平成22年12月定例会

- 平成22年第4回定例会 主な質疑／審議結果…P2～3
- **ここが聞きたい!** 一般質問……………P4～14
- 議員研修会……………P14
- 委員会活動報告／主な議会の動静……………P15
- **傍聴者の声** / 3月定例会の予定……………P16

平成22年第4回定例会

11月30日
12月10日

主な質疑

議案第1号

銚田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

問

昨年も期末勤勉手当ほか給与の引き下げ、そして住宅手当の廃止が行われ、2年連続の大幅な引き下げとなりました。これにより景気低迷という中で消費を一層冷え込ませる結果になると思います。人事院勧告が出たにせよ、銚田市としての独自の自主的な判断はありませんか。

答

本市のような特に小さな地方公共団体においては、人事委員会も備えておりません。人事院勧告は国家公務員に対してなされるものですが、本市地方公務員もそれに準拠するというスタンスをとっています。

提出議案と審議結果

全員賛成
賛成多数
賛成少数

平成22年第4回銚田市議会定例会

平成22年度補正予算

- 専決処分の承認について (第6号)
- 銚田市一般会計補正予算 (第7号)
- 銚田市一般会計補正予算 (第8号)
- 銚田市一般会計補正予算 (第3号)
- 銚田市介護保険特別会計補正予算 (第3号)
- 銚田市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第3号)
- 銚田市公共下水道事業特別会計補正予算 (第3号)
- 銚田市旭区域水道事業会計補正予算 (第3号)
- 銚田市銚田区域水道事業会計補正予算 (第2号)

条例・規則の一部改正等

- 銚田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 銚田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例
- 銚田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について

その他

訴えの提起について(3件)

人事

銚田市教育委員会委員の任命について
(借宿 鬼澤 明)



平成22年度鉾田市一般会計
補正予算(第7号)について

問 小学校施設整備事業費で、3960万円が、7460万円、公共土木施設災害復旧事業費では、80万円が、220万円と地方債が変更されています。今までも何度となく地方債の変更がなされてきましたが、鉾田市の地方債の起債のルール及び限度額はどうなっているかについて伺います。

答 財政上は、鉾田市の限度額がいくらかというような指数は特にありません。あくまでも財政上公債比率を上回っているとか、制限比率を上回っているとか、そういうことがない限り、その範囲内であれば起債は起こせる仕組みになっています。

問 鉾田北中学校の建築工事、さらには統合小学校の建築工事は合併特例債事業の中に位置づけています。特例債事業の時間的余裕がないため、地区説明会と実施計画を合わせて検討していきたいと、補正予算を計上しました。

答 今回の補正で約6億円を基金のほうに積むということだが、住民サービスのほうにお金を使ってもいいのではないか？

問 補正した6億4千万円は公共施設の整備基金です。将来の合併特例債後の交付税の大幅な減額後に備えて、本市としては安定的に予算を組むために基金に積みました。

答 鉾田北中学校の建築工事、さらには統合小学校の建築工事は合併特例債事業の中に位置づけています。特例債事業の時間的余裕がないため、地区説明会と実施計画を合わせて検討していきたいと、補正予算を計上しました。

請願

- TPPの参加に反対する請願
- 米価の大暴落に歯止めをかけるための請願

意見書

- 環太平洋連携協定(TPP)への参加に関する意見書の提出について
- ◎ 「原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法」の期限延長を求める意見書の提出について

討論(反対討論や賛成討論があった議案)

- ・ 鉾田市一般会計補正予算 (第7号)
- ・ 鉾田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- ・ 鉾田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について
- ・ TPPの参加に反対する請願
- ・ 米価の大暴落に歯止めをかけるための請願
- ・ 環太平洋連携協定(TPP)への参加に関する意見書の提出について

議員定数

現行26人から22人へ

次回選挙より



26人
↓
22人

昨年より議員定数及び議員活動に関する調査特別委員会が協議してきた議員定数について、今定例会に条例の一部改正案を提出し、賛成多数で可決され、次の選挙から適用されます。

問 学校施設再編計画策定事業55万円の補正予算について、地区説明会と実施計画を合わせて予算を計上していますが、まず住民との懇談を優先すべきで、計画策定費用は新年度に計上すべきではないか。



ここが聞きたい！！一般質問

19人の議員が一般質問

議員名	質問事項
倉川 陽 好	(1) 国民年金について (2) 国民健康保険について (3) 合併計画の道路の進捗状況について (4) インターネット回線について
飯塚 幸右衛門	(1) 地籍調査について (2) 道路について
石 崎 良 一	(1) 平成30年度重点政策方針について (2) うまかっぺフェスタと海浜公園整備計画について
友 部 政 徳	(1) 道路について (2) うまかっぺフェスタについて (3) 産業廃棄物の不法投棄について
江 沼 久 男	(1) 高速増殖炉の実証炉誘致について (2) 循環型農業を基本とした新産業の創出について
方波見 和 彦	(1) ブランドアップについて (2) 産業振興について
小 沼 洋 一	(1) 農業の現状と今後の対策について
栗 田 洋	(1) 小学校の適正配置等について
勢 司 正 躬	(1) 街づくりについて (2) 道路改良工事について (3) ブランドアップについて (4) 工事における地元の方への説明について (5) 原子力について
小 川 一 彦	(1) 小中学校の適正配置について (2) 給食について (3) 農産物加工について (4) 道路について
米 川 宗 司	(1) 原子力について (2) 高度救助隊について (3) 国道1号線の美化について (4) 道路について
畠 長 弘	(1) 学校教育整備について (2) 農政支援対策について
水 上 美智子	(1) 高齢者に優しい街づくりについて (2) 道路について (3) 子育て支援について (4) 女性の健康について
小 沼 幸 義	(1) 各地区道路整備について (2) 市営運動場における風雨避難所について
井 川 茂 樹	(1) 平成30年度予算編成方針について (2) 財政調整基金積立金について (3) 乗合自動車運行事業について
高 野 衛	(1) 農業振興対策について (2) 雇用対策について (3) 小学校の適正配置等についての答申について (4) 文化複合施設について (5) 市公用車の車検整備と給油について (6) 光ファイバーの整備について (7) 公園整備について (8) 時差式信号機の設置について
小 沼 俊 秀	(1) 道路問題について
菅 谷 達 男	(1) 「市民との協働」によるまちづくりについて
入 江 晃	(1) TPPについて (2) 銚田市都市計画マスタープランについて (3) 茨城空港利活用について (4) 文化複合施設について

ホームページで
一般質問の会議録が
見られます。

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

銚田市のホームページへアクセスする。(アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>)

市ガイド内の「銚田市議会」をクリックする。

会議録をクリックする。

なお、今定例会の会議録公開は、尚頃の前です。本会議の会議録冊子は、市立図書館で閲覧できます。

インターネット回線

倉川 陽好 議員



問

住民の方より、光ケーブル回線がないので、市からNTTに回線整備の要望等ができないのかと聞かれました。市内で農業ブランドを立ち上げ頑張っている後継者がインターネット等を利用しやすくするのも行政の仕事の一つかと思えます。現在の状況と執行部の取り組みを伺います。

答

【総務部長】市役所及び学校、公民館、図書館は、いばらきブロードバンドネットワーク(EBBN)により光

ケーブル回線が構築されています。また旧銚田町の一部には提供されていますが、ここ以外の旧銚田・旧大洋・旧旭地区については提供されていません。光ケーブルは総務省の光の道構想に関する合同検討部会にて協議されており、2015年をめどに超高速ブロードバンドの整備率を10%とし、全国でブロードバンド利用の実現を目標としています。光ファイバー整備は、一定区域の加入者を確保することで通信事業者へ要望・協議し提供を受けられることが期待されています。市も通信事業者へ必要な情報を提供するなど働きかけをしていきたいと思っています。

道路問題

飯塚 幸右衛門 議員



問

合併時に申請のあった道路で、継続された道路の本数と、今後の対応について伺います。

答

【建設部長】合併時は389件の要望書がありまして、見直しの為、昨年11月に一旦各区へお返しさせていただきましたが、既に整備済・一部整備済及び一部着手している為お返ししなかった申請書が106件、56地区あります。今後の対応としては106件のうち整備済23件、一部整備済23件、一部着手が60件あり、整備済を除

問

いた83件については状況に応じ事業推進可能な箇所から随時整備をしていく考えです。
83件の継続道路の整備が完了するにはどのくらいの期間がかかりますか。

答

【建設部長】各路線については何年か継続的に実施している路線があったり、途中でその境界確定が進まなかったり、道路そのものが地元の了解がとれず中断している道路もありますので、明確な期間はお答えできません。



平成23年度重点政策方針

石崎良一 議員



問

合併5年目を迎え、下水道整備・学校給食センター整備等と着実に鉾田市発展を進めている中で来年度の重点政策方針を伺います。

答

【総務部長】重点施策について、現在各課において予算要求している段階で、具体的な事業は現段階ではお答えできませんので、予算編成方針についてお答えします。23年度の予算編成基本方針は、基金繰入れには頼らず、スクラップ・アンド・ビルドを実践し、徹底した既存経費の縮減を図り、

市民が幸せを実感できる事業を厳選することとしました。この方針に基づき、合併特例債など特定財源の有効活用及び一般財源の効率的な配分に努め、引き続き鉾田市総合計画に掲げた、産業振興・教育環境の充実・生活基盤の充実などの施策が着実に実践できるよう努めたいと考えています。

問

市の財政は厳しいと思いますが、基金が90億円ある中で市長の財政的な考え方を伺います。

答

【市長】決して初めから貯金、基金をしているわけではないですが、なるべく余った金は貯金する。それが今後持続可能な市政運営につながると考えています。

用語解説 スクラップ・アンド・ビルドとは
既存のものを廃止し、新設すること

二重作・安塚間道路

友部政徳 議員



問

合併特例債事業として計画された二重作・安塚間道路(仮称市道鉾田大洋線)が凍結となりました。その後地元では、どうしても必要な道路であるから凍結解除して早期につくってほしいとの署名活動が行われ、3千余名の凍結解除の署名が提出されました。今後の対応を伺います。

答

【建設部長】県支援道路の新宮二重作間については、財源の確保や整備方法の検討を行い、来年度実施に向けて予算化の協議を行って

いるところです。

問

地元から大変要望がありますので、ぜひ来年度からは実施していただきたいと思います。署名提出をされての市長の考えを伺います。

答

【市長】部長の答弁のとおりですが、財務省では交付税の1兆円⁵の別枠を次年度は削減をするということもあり、慎重に検討していくべきだと思っています。



高速増殖炉の実証炉誘致

江沼 久男 議員



問

2025年の実証炉運転開始を踏まえ、関係

5者(文部科学省、経済産業省、電気事業連合会、日本電機工業会、日本原子力研究開発機構)は早めにサイト選定や安全審査等の準備を行うために、本年度中に国、原子力機構、電気事業者等の役割分担について検討するとしています。すでに本市と大洗町には研究のための高速増殖炉「常陽」があり、将来の本市の財源確保と雇用創出という点からも、実証炉誘致を考えてみてはと思いま

答

す。市の考えを伺います。

【総務部長】誘致については今後、国の高速増殖炉開発の動向を注視して情報収集するとともに、市民のご理解・ご協力が不可欠であり、施設存在に対し肯定的・否定的なご意見をいただきながら、誘致に積極的な気運の高まりがあれば適切に対応していきます。

答

【市長】実証炉建設については、まだ国の具体的な部分が見えません。仮に本市が誘致に当たるとすれば、市民にある程度の事業内容、メリット・デメリット等を説明しながら、皆さんの賛同を得てやるべきだと考えています。



ブランドアップ事業

方波見 和彦 議員



問

開発協力事業者がほとんど市外企業ですが、

なぜ地元企業等には声をかけずに進めているのか。またブランドアップ効果として、一般農家からも原料を購入してくれるものと市民は期待しています。いつその恩恵を受けられることができるのか伺います。

答

【産業経済部長】ブランド化の取り組みは、農産物を中心とした地域資源をいかに市外で流通拡大・販路開拓するかに軸足を置いた活動に注力しており、それによ

って商品自体が広範囲の店舗に流通させること、費用節約しながら本市PRができる効果等の観点から、市外事業者が多くなっています。今後は商工会の方々と連携を組んで産地特産品として戦略を組みたいと思っています。

農家への恩恵については、農業振興センター設立、ほこまるGAPの導入推進により、営農のサポートをすることや、JA並びに任意組合が主体となつて構成する品目別の生産者団体設立を進め、各団体から加工用の原材料の買上げを図ることなどで恩恵が進んできていると思います。



農業の現状と今後の対策

小沼 洋一 議員



品についても、原材料に銚田市産の表示のほか、製造元、販売元は表示されていますので、そちらでのクレーム対応としています。

問 地元業者がブランドアップ製品に参加していないという状況の中で、商品のクレーム、万が一の問題が起きたときに、本市はどこまで責任を負わなければならないのか伺います。

また、農家の負担軽減、不法投棄撲滅など環境との共生を考え、廃ビニール等処理の無料化が出来ないか伺います。

答 【産業経済部長】メロンなど農作物の販売については販売元の問い合わせ先を表示しています。また、加工

廃ビニール無料化については県に協議会があり本市だけの無料化は難しい状況です。無料回収を行っている業者も聞いてはいますが、何らかの形でその回収ができなくなった場合のことを考えると、現状の県との連携で推進すべきだと考えます。今後の課題にさせていただきます。



小学校の適正配置

栗田 洋 議員



問 10月18日、小学校の適正配置の答申書が市長に提出されましたが、早急に統合を考えなければならぬと私は思います。また、小学校校舎の耐震診断の結果が公表されました。校舎のIS値が低くこのまま何年も補修しないわけにはいきません。どのように対応するか伺います。

答 【学校教育課長】現在進めている学校施設の耐震化や財政的課題について、さらに多面から整理、検討し、具体的な実施に向けた小学校再編基本計画の策定に取り組

みます。

幅広い見地から専門的な意見、考えを取り入れ、よりよい再編計画を策定するため、学校施設再編計画策定事業を行い、全体的な基本構想及び実施計画の策定作業に着手したいと考えています。

答 【教育長】子供たちの将来のために早急に計画を策定し、できる範囲から進めていきたいと考えています。

答 【市長】少子化の進行に伴ってその環境を踏まえたときに、小学校の統廃合は避けて通れません。これに伴い、耐震問題も一緒に解決ができと思っています。ただ、一気に全部できませんので、基本計画等を練り上げ、住民の皆さんにも説明しながら、できるところから段階的に進めていきたいと思っています。

ブランドアップ

勢司 正躬 議員



問

各ブランドアップの商品について、製造はもとより販売も市内多くの店々で扱うことが活気を取り戻すことに繋がると考えますが、どのように考えていますか。

答

【産業経済部長】ブランドアップ事業は農業の生産を主流にして考えている取り組みであり、本市の農産物を日本全国に向けて発信をかけるためのものですから、当然、製造量、ロットの問題があります。それらに対応するためには、ある程度、企業が生産能力を持っていないと

りませんので（市内の企業だけでなく）県内の企業ということで展開しています。

今後は商工会での地元の特産品の開発・販売などの取り組みに対し、地元の企業と商店街とともに市の活性化を図ることを考えながら進めていきたいと思っています。

問

ブランドアップ振興協議会の規約を変えて、協議会と契約し認定商品を売れるようになれば、広く地域に消費され、購買され、波及効果があると考えますが、規約の改正の考えはありませんか。

答

【産業経済部長】規約の中で商品を地元で売らないという規約はありません。あくまで企業との契約であり、そこにブランドアップ振興協議会が契約に入ることはありません。

小中学校の適正配置

小川 一彦 議員



問

12学級程度の小学校を1校新設するのに当たり、校舎、体育館、プール等、また備品も含めおおむね幾らくらいかかるのか。

同じく、9学級程度の中学校を1校新設するのにかかる費用は。中学校になると、柔剣道場等も必要かと思いますが、それも含めて伺います。

答

【学校教育課長】小学校では、仮に5300平方メートル程度の校舎建築ですと約14億8400万円。体育館が約3億円。屋外プールが約9千万円。外構工事が約

1億円。備品類が約1億円。合計で建物のみで約21億円と試算をしています。

中学校では、仮に6千平方メートル程度の校舎ですと約16億5千万円。体育館が約4億8千万円。屋外プールが約9千万円。柔剣道場が約9千万円。外構工事が約1億円。備品類が約1億5千万円。合計で建物のみで約25億6千万円と試算をしています。

要望

私は、小学校4校、中学校は1校でいいのではないかと考えています。小学校を新たに4校つくるというと約80億円からの費用がかかり、財政面を考えると、実際これらが成し遂げられるか不安です。現在の中学校を小学校に利用して、新しく中学校をつくるという私の意見も、今後検討していく中で取り入れていただければと思います。

国道51号線の美化

米川 宗司 議員



問

国道側面の植え込みに背の高い雑草などが生え、道路を利用してはいる県外、市外の方々に、鉾田市としてのよいイメージを与えません。どのような管理をしているのか、市として要望をしているのか伺います。

また、植え込みの木も大きくなり、数年経つと、木の大きさと立ち木で車両の出入りに視界の妨げになる状況であり、事故発生の原因になることが考えられます。撤去するなどが安全の確保をと思いますが、市の見解を伺います。

答

【建設部長】国土交通省 鹿嶋国道出張所によりまずと、予算の都合上、年1回程度の除草しかできないが、交差点、通学道路等の安全確保は優先しているとのことでした。

また、見通しの悪い交差点は優先して剪定しており、市民の方から見通しが悪い等のご指摘があった箇所についてはその都度対応してますが、立ち木等の撤去は予算面から対応できない状況とのことです。

問

予算がないからではなくて、危ない状況なので、もっと要請すべきと思います。いかがが。

答

【建設部長】皆さんから要望があれば（国土交通省鹿嶋国道出張所へ）話をして、極力実施するよう要請していきます。

農政支援対策

畠 長弘 議員



問

米作農家に対する戸別所得補償モデル対策について、この交付金があることで、逆に米価の下落要因、休耕、耕作放棄地に拍車がかかるのではと懸念する声があります。本市の稲作転作生産者の申請率は？

また、申請率が低いとなれば多くの生産者に簡単に交付金が受け取れるよう周知が必要と思うが、取り組みについて伺います。

答

【産業経済部長】戸別所得補償モデル対策交付金の申請状況は加入申請件数が345件、水稲作付農家数が

4796件なので、申請率は71%となります。そのうちの達成者は121件で25%となります。

市としては、引き続き事業制度の周知徹底を図るために広報の掲載を行い、更には水田農業推進協議会との協力、連携を図ります。

問

今後日本の農業が自立していくには、専業農家として経営が成り立っている地域でなければ、世界を相手に競争していけないと私は思うが市長の考えは。

答

【市長】やはり専業農家が規模を拡大して、結果として生産性を上げることが重要です。

戸別所得補償制度では兼業農家も対象となっていますが、やはり、専業農家を重点的に援助していく、そういうことが大事ではないかなと私は思います。

女性の健康

水上 美智子 議員



問

女性の健康についての啓発活動の一つとして、

接種期を控えた対象者の母親や対象の方に、子宮頸がんのワクチン接種の正しい知識と検診の大切さを学ぶセミナーの開催をしてほしいと考えますがいかがが。また、子宮頸がん予防ワクチンの公費助成について、本市の考えを伺います。

答

【健康福祉部長】来年度から子宮頸がんワクチン接種の実施を考えています。ワクチン接種の実施が具体化した時点で、中学校単位に生

徒や保護者を対象に説明会を開催する計画です。

なお、12月9日、子宮頸がんについての理解を深めていただくため、鉾田保健所管内食生活改善推進団体連絡協議会において『子宮頸がんワクチン及び検診の重要性について』と題して、鉾田保健所の協力を得て講話を実施します。

今後機会あるごとに子宮頸がんワクチンと検診の重要性について、生徒や保護者はもとより、それ以外の方を対象にしたセミナーについても開催していきたいと考えています。

子宮頸がんワクチン接種の公費助成については、平成23年度に市内女子中学生1年生から3年生までを全額公費助成と考えています。

各地区道路整備

小沼 幸義 議員



問

現在の車社会において、毎日利用する道路を一日も早く整備してほしいと住民の方は待ち望んでいます。

各地区からの要望に対して現地調査をし、A・B・Cとランク付けしたとのことですが、それぞれ何件ありましたか。また、Aランク付けした道路は何年くらいまでに整備するのですか。

答

【建設部長】各地区から提出された要望書59件を道路整備審議会で評価しました。Aランク16件、Bランク16件、Cランク25件、その他2件でした。非常に厳しい財政

状況の中で、現在継続中、調査中の路線を整備しながら、その中に今回Aランクとなった路線を加え各路線の状況を踏まえながら順次整備をしていく予定です。

問

Cランク25件について何年先ごろになれば実現できますか。

答

【建設部長】Cランクについては、路線の方向性を見直したり、利用方法を考え直せば、再度、審議会の中で検討する余地はありますが、一概に、できるのか、できないかというご質問に対してはなかなか難しいです。

問

Aランク16件は、大洋地区、鉾田地区、旭地区と均等に整備していくのか。

答

【建設部長】実施については各地区ごと均等に整備することを考慮し、同じ本数で取り扱うよう検討していきます。

財政調整基金積立金

井川 茂樹 議員



問

合併後各種の受益者負担が一部引き上げになつていくようです。各事業等も厳しく予算編成されている中、市は各種の基金を積み立てています。厳しい財政状況の中で基金を積み立てる根拠はどこにあるのか。

また、市は基金の積立額をどのくらいが適正と考えているのか伺います。

答

【総務部長】将来世代に市債の償還のみ負わせ、やりたいことが何もできない状況になってしまわぬように、世代間負担の公平性を担保し、未来永劫持続可能な行財政運

営を続けるためには、特定財源にも恵まれている今だからこそできる基金の積み立ては、財政力の脆弱な鉾田市にとっては重要な政策としてご理解をいただきたいと思います。

積立金の適正額については、ほかの同規模な合併自治体においても合併特例期間を見据え、基金の積み増しを行っているところ、交付税減額分の少なくとも10年分を確保する観点から、100億円以上を一つの目標としていきたいと考えています。

要望

基金の積み増しも重要ですが、市民サービス拡充をしていかないと人口がどんどん減り活力もなくなっていくと思うので、平成23年度の予算編成において、別枠で市民サービス経費を財政の1%程度計上していただきたい。

農業振興対策

高野 衛 議員



問

重要な農産物が例外なしに関税が撤廃されるならば、日本農業と地域経済、国民生活に与える影響は極めて甚大です。国民の圧倒的多数が願っている食料自給率の向上とTPP交渉への参加は絶対に両立をするものではありません。鉾田市の影響もとても大きいと思います。

今、全国各地からTPP参加反対の声が表明をされています。野菜の生産額日本一の鉾田市から全国へTPP反対の声を発信すべきと考えます。市長としての見解を伺います。

答

【市長】私はTPPに関してすべて賛成とは思っておりません。今、日本は輸出の企業でいろんなものを稼いで国は成り立っていると思っています。

しかし、このような協議が始まって、農業に対して(国が)どのような保護、または、施策をするのか。それらを見てから意見を言っていく。初めから絶対反対では将来的にみて日本はどうなんだろうと…。

マスコミのアンケート結果では、6割の人がこれに賛成しているとのデータがあります。だから、少なくとも、農業をきちんと守ってくれると、そういうこと(国の施策)を確認してから意見は述べていきたいと思っています。

用語解説 TPPとは

Trans-Pacific Partnership(環太平洋戦略的経済連携協定)の頭字語

道路問題

小沼俊秀 議員



問

台風の大雨で大洋青山地区市道0102号線と畑田地区市道767号線が陥没して、約2カ月以上も全面通行止めとなっています。市民は大変不自由をしている状況です。早急な対策が必要ですが、早急な対応はできないか、復旧工事はいつ始まるのか伺います。

答

【建設部長】9月27日、28日にかけての豪雨により市道大洋0102号線の青山地内及び市道767号線の畑田地内の2カ所において道路及びのり面が崩落し、現在も通行止めになっています。

この2カ所の被災箇所については、国庫負担のある平成22年度発生公共土木施設災害復旧事業により、復旧工事を行うことになりました。11月24日に国の査定官、立会官による現地調査が実施され、指示事項について査定設計書を修正して、26日に決定金額の記入をいただき、査定が完了したところです。

したがって、市道大洋0102号線の被災箇所については今回の補正予算に工事費を計上しましたので、可決いただければ実施設計を完了させ、早急に発注したいと考えています。

市道767号線の被災箇所については、専決処分での予算計上をし、道路災害復旧工事として11月26日に発注済みとなっており、工期については平成23年2月4日までの予定となっています。

『市民との協働』によるまちづくり

菅谷達男 議員



問

市民一人一人が真の豊かさを実感できる元気あふれるまちづくりを進めるためには、多様な主体が地域社会の担い手として積極的に参加し、役割と責任を自覚しながら、力を合わせ、ともにまちづくりに取り組んでいくことが必要です。行政はどのように取り組んでいくのか伺います。

答

【総務部長】本市では簡素で効率的な行政を実現する観点から、活発な市民活動に支えられた市民と行政による協働のまちづくりを推

進しています。推進組織としてまちづくり推進会議と生涯学習推進会議が組織され、自発的かつ多様な市民活動を行う政において支援しています。今後も市民の自主的、自発的な取り組みを支援していくことで市民活動の活性化を図り、協働のまちづくりを進めていきたいと考えています。

答

【市長】財政的な問題、また市民の要望の多様化等を踏まえると、行政がすべて網羅するのはなかなか難しいと思います。そういう中で住民の皆さんができるものは住民の皆さんにも一緒に、また参加してやっていただく事がこれからは大事な事かなと思います。今後いろいろな地域で、我々ができる部分はもちろん応援をし、住民の皆さんと一緒にやっていきたいと考えています。

文化複合施設

入江 晃 議員



問

文化複合施設は、今土地の選定を進めているようですが、施設規模がある程度決まっていなければ土地の面積等も決まらないと思います。施設の計画規模について伺います。

答

【総務部長】文化複合施設の計画、規模については、文化複合施設基本構想策定委員会、庁内研究チームによると施設規模は600～850席程度となっています。これは決定ではなく、構想段階での規模となり、今後施設の機能、

問

市として文化複合施設が必要と考えるならば、きちつと内容（土地の選定等）を踏んで実行すべきと思うが、市長の考えは？

答

【市長】文化施設は、子供たち、高齢者の方もいろいろ活用されていて、大変必要だと思っています。合併特例債事業を活用できる我々の代でつくらなく、次の代だともっともっと建設が厳しくなると思います。土地の選定については、客観的に土地を選定し公表する手順で進めていきます。

用語解説 ワークショップとは
専門家の助言を得ながら問題解決のために行う研究集会

議員研修会を開催しました

平成22年11月5日 JAEA大洗研究開発センター

研修会では、世界および日本のエネルギー情勢や環境問題等の講話を受け、今後の原子力施設の有効性について勉強しました。また、大洗研究開発センターでは高速増殖炉サイクル実用化に向けた取組みとして「冷却系機器開発試験施設」を建設しており、その建設現場視察も行いました。



委員会活動報告



【総務企画常任委員会視察研修実施】

11月 10日(水)に兵庫県淡路市において防災対策に関する行政視察を行いました。

翌 11日(木)には兵庫県たつの市において文化施設の視察を行いました。



【議会運営委員会視察研修実施】

10月 27日(水)に福島県会津若松市議会において議会基本条例に関する行政視察を行いました。

翌 28日(木)には栃木県那須塩原市において議会改革に関する行政視察を行いました。



【百里基地騒音対策特別委員会視察研修実施】

11月 25日(木)に沖縄県宜野湾市議会において普天間飛行場に係る騒音対策に関する行政視察を行いました。



【経済建設常任委員会視察研修実施】

11月 17日(水)に新潟県十日町市においてグリーンツーリズム事業に関する行政視察を行いました。

翌 18日(木)には 雪国まいたけにおいて野菜カット工場の視察を行いました。

11月		12月		1月	
1日	福島県本宮市議会来庁	30日	平成22年第4回定例会	20日	茨城県市議会議長会定例会・講演会 (ひたちなか市)
2日	茨城県市議会議長会理事会・定例会(潮来市)	30日	全員協議会	25日	議会広報編集委員会
5日	石川県加賀市議会来庁	25日	議員定数及び議員活動に関する調査特別委員会	26日	県東市議会議長会視察研修(千葉県館山市)
5日	議員定数及び議員活動に関する調査特別委員会	24日	百里基地騒音対策特別委員会行政視察研修 (沖縄県宜野湾市)		茨城県市議会議長会第2回議員研修会(土浦市)
5日	議員研修会(JAEA大洗研究開発センター)	22日	区長会と市議会との意見交換会		
9日	長野県上田市議会来庁	21日	議会運営委員会		
10日	総務企画常任委員会行政視察研修 (兵庫県淡路市・たつの市)	17日	経済建設常任委員会行政視察研修 (新潟県南魚沼市・十日町市)		
12日		18日			

主な議会の動静

傍聴者の声



平 大戸区長
佐 伯 消防機庫
新築及び

4月か
ら区長を
受け最初
の仕事が
消防機庫
新築及び
乾燥塔建設の補助金申請(補正予算)
でありました。その後、水道工事や
合併道路拡幅工事と鉾田市の事も区
長の役割も私にはわからない事ばかり
なので議会にも4回ほど傍聴しに行
き、第3回定例会には建設委員と
消防団16名で傍聴しました。
そして、今回も19名の議員の皆さん
が鉾田市をいかに先進都市として
発展させて行くか、それぞれの議員
の思い、又市民の意向を踏まえ質疑
や討論を重ね、農業振興・小中学校
の適正配置・介護・道路の問題・公
共施設と幅広い分野から意見交換を
し、新しい都市づくりを目指してい
る事がわかりました。
傍聴席からの携帯着信音に対し、
議員から注意を受ける場面がありま
したが、初めて傍聴される方もいま
す。議会の始めに議長より傍聴者に
対して主な注意事項を配慮してい
だき、今後も鉾田市民が一人でも多
く議会を傍聴し関心を高められるこ
とをお奨めいたします。

3月定例会日程(予定)のお知らせ

月 日	会議内容
3月1日(火)	本会議開会
3月3日(木)	一般質問
3月4日(金)	一般質問
3月8日(火)	本会議
3月10日(木)	本会議
3月11日(金)	委員会
3月14日(月)	委員会
3月15日(火)	委員会
3月18日(金)	本会議閉会

※日程は変更になる場合があります。

平成22年第4回(12月)定例会の延傍聴者数 93人

編集後記

今回の定例会に於いて、19名の議員
が登壇し、一般質問をとおりて行政の
実態の説明をもとめたり、市政の問題
点を追及し改善策を提案しました。議
員は質問をするため周到な準備をし、
その結果、市の抱えている問題点や課
題が、浮かびあがってきます。そして、
市民の方々も一般質問での議員と行政
の応答を知っていくことによって、市
の問題点を真剣に考え、本市がよき方
向に変わっていくことに期待を寄せて
いると考えます。現場の声に耳を傾け
質疑をし、議論していく中で議員に期
待をされていることを強く感じます。
これからも、「議会だより」は見や
すく読みやすい紙面づくりを心がけて
努力してまいります。よろしく願い
致します。(水上 美智子 記)

- 委員長 水上美智子
- 副委員長 方波見和彦
- 委員 小沼 幸義 菅谷 達男
山口 徳 栗田 洋